

あやなり

a y a n a r i

文教大学学園
校友会報

2021.8.16 第8号

発行：文教大学学園

編集：学園本部 理事長室

作品

イラストレーター
きどふみかさん

文教大学 教育学部
2011年卒業



特集 動き続ける文教大学学園

- | | |
|----------------|-----------|
| 02 学園理事長の挨拶 | 14 恩師便り |
| 03 文教HOT Topic | 16 校友会の輪 |
| 10 文教人／141,000 | 18 学園NEWS |
| 12 文教人に会える店 | 20 文は人なり |

文教大学学園の卒業生や現役・退職教職員など、関係者の皆さまにお送りする広報誌、

「あやなり」第8号をお届けします。文教大学学園の各校の情報や、

卒業生・退職された先生方へのインタビューなど、

楽しんでいただける内容を掲載いたしました。

この「あやなり」が、人と人、人と学校をつなぐ場であればと願っています。

あやなりとは

「あや(文=文教)は人なり」という想いを込めて。いにしへの時代、「あや・文」は物の面にあらわれたいろいろな形、さまざまな線が交錯した模様を指す言葉として使われました。「あやなり」もさまざまな情報を発信し、皆さまの目を楽しませる冊子を目指します。

「あやなり」第8号をお届けします



文教大学学園 理事長
野島 正也

新型コロナウイルス感染症拡大やそれに伴う社会情勢の変化を受け、卒業生の皆さまにおかれましては我慢を強いられる日々をお過ごしのことと拝察し、心よりお見舞い申し上げます。

本学園では、新型コロナウイルス感染症拡大防止および在学生・ご家族の皆さまの健康と安全の確保を最優先に対応してまいりました。オンラインによる授業の実施等では、在学生の皆さまにご不便をおかけいたしました。前向きに取り組んでいただくことができ、大学におきましても徐々に対面授業ができるようになりました。また、2021年4月には、大学3つ目のキャンパスとなります東京あだちキャンパスを開設し、学生の明るい声が響いております。

「あやなり」は、卒業生や現役・退職教職員向けの広報誌として2014年に創

刊し、第8号となる今号は2021年4月に開設した文教大学東京あだちキャンパスと、新型コロナウイルス感染症に対する本学園各校の対応のご紹介を中心に編集を進めました。また、毎号好評な卒業生や懐かしい先生方の近況をお伝えることで、皆さまが旧交を温めるきっかけになれば、と考えております。

学園は2021年に創立94周年を数え、100周年という目標に向けて歩んでいます。建学の精神であります「人間愛」を大切にしながら、皆さまが学園各校の卒業生、現役・退職教職員であることが、誇らしく思えるような学園づくりに、さらに取り組んでいく所存です。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、「あやなり」第8号をお楽しみください。

文教大学学園 2021年5月1日現在

文教大学附属幼稚園

開設:1927(昭和2)年
園児数:158名

園長:保田 昇
所在地:旗の台キャンパス
〒142-0064

東京都品川区旗の台3-2-17 Tel:03-3781-2798



文教大学附属小学校

開設:1951(昭和26)年
児童数:332名

校長:島野 歩
所在地:石川台キャンパス
〒145-0065

東京都大田区東雪谷2-3-12 Tel:03-3720-1097



文教大学附属中学校・高等学校

[中学校]

開設:1947(昭和22)年
生徒数:515名

[高等学校]

開設:1948(昭和23)年
生徒数:791名

校長:銅谷 新吾
所在地:旗の台キャンパス
〒142-0064

東京都品川区旗の台3-2-17 Tel:03-3783-5511(代)



文教大学・大学院

開設:1966(昭和41)年

教育学部:1,517名

人間科学部:1,717名

文学部:1,484名

情報学部:1,247名

健康栄養学部:392名

国際学部:1,098名

経営学部:727名

大学院:73名

専攻科教育専攻科:1名

外国人留学生別科:2名

(合計 8,258名)

学長:中島 滋

所在地:

[越谷キャンパス]

〒343-8511

埼玉県越谷市南荻島3337 Tel:048-974-8811(代)

[湘南キャンパス]

〒253-8550

神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 Tel:0467-53-2111(代)

[東京あだちキャンパス]

〒121-8577

東京都足立区花畑5-6-1 Tel:03-5686-8577(代)



越谷キャンパス



湘南キャンパス



東京あだちキャンパス

文教 HOT Topic



教育学部卒業生の倉橋香衣さんが パラリンピック日本代表に 選ばれました!!

「あやなり」第6号内「SPORTと始まるSTORY」に登場した、文教大学教育学部卒業生の倉橋香衣さんが、車いすラグビーの東京2020パラリンピック日本代表に選ばれました。男女混合競技の車いすラグビーでは、唯一の女子選手として選出されました。ぜひ応援をよろしくお願いたします!!



撮影:
2019年12月

BUNKO活躍中!

文教大学公式マスコットキャラクター BUNKOが、学園内各校で活躍しています。幼稚園ではお誕生日会のお祝いに訪れました。学内で見かけましたら、ぜひ可愛がっていただけますと幸いです。



[特集]

動き続ける文教大学学園

新キャンパス始動!

あやなり誌面ツアー開催

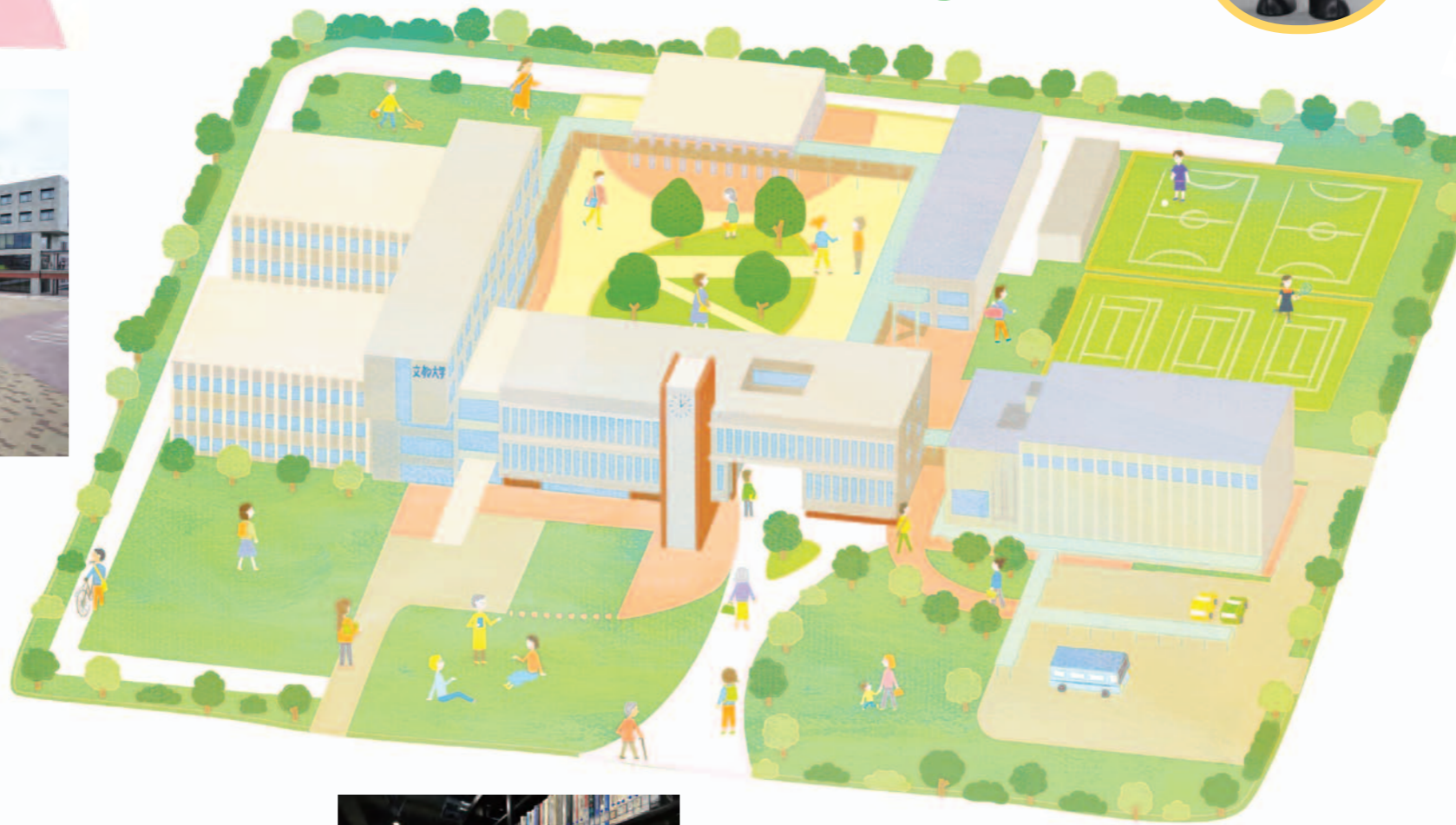
2021年4月、大学3つ目のキャンパスとして「東京あだちキャンパス」が誕生しました。国際学部と経営学部の学生約1,800人が学ぶ、地域に開かれた活気ある新キャンパスを訪ねました。

ケヤキコート



各棟に囲まれたキャンパスの中心にある広場。学生や地域の方たちが行き交う、憩いのスペースです。

ケヤキは、この場所にあった区の保存樹を残しています



図書館

「知」の拠点として、学生たちの学びのアクティビティを支えています。情報のシェアを促す2階、静かに学べる3階と、フロアごとに趣が異なります。



3階
2階

社会は今、めまぐるしく変化する時代を迎えています。こうした状況のなかでも、文教大学学園は歩みを止めず、学びを止めず、園児・児童・生徒・学生の明るい未来につなげるために動き続けています。

講堂

講演会や学外発表など、外部に開いた発信の拠点です。木の温かみを感じられる空間で、400人以上を収容することができます。

体育館やテニスコートもあります



食堂



カフェ



明るく開放的な雰囲気食堂とカフェ。ひとりでもみんなでも、イベントでも利用できる「食」の拠点です。

次のページでは学食メニューをご紹介します!



所在地 〒121-8577 東京都足立区花畑5-6-1

アクセス

東武スカイツリーライン
谷塚駅から徒歩約13分
竹ノ塚駅からバス約20分

つくばエクスプレス
六町駅からバス約15分



外壁のない開放的なキャンパスは、地域住民の方々も気軽に通り抜けられ、学生たちとの交流も生まれています。このページで紹介した施設は、地域に開かれており、卒業生の皆さまにもご利用いただけます。ぜひ気軽にお立ち寄りください。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の施設をご利用いただけません。

特別公開!
教育・研究ゾーン

学生しか立ち入ることができない教育研究棟。講義棟をつなぐコンコースは、学生たちが授業の合間などに自由に利用できる共用空間となっています。



2階と3階の長大なコンコースに、自習、ディスカッション、プレゼンテーション、憩い…さまざまな用途にあわせた多様なスペースがシームレスに並びます。学部・学科の垣根を越えて学生たちが集い、思い思いの時間を過ごしています。

随所にあるホワイトボードでアイデアを整理



ガラスで仕切られた会議スペース

舞台と観客席としても利用可能



学生たちに人気の高い半個室



量の空間で気分を変えて



文教グルメ
東京あだちキャンパス編

リーズナブルな価格でおいしい料理を楽しむことができる食堂。学生や地域の方々にも人気のメニューの一部をご紹介します！



Aランチセット (ハンバーグととりの唐揚げ) 410円



パスタセット (サラダ・デザート付) 470円



Bランチセット (鯖の中華ねぎソース) 470円



オムライス(サラダ付) 470円

営業時間

食堂1階

平日 午前10時～午後4時
土曜日 午前10時～午後1時

食堂2階

平日 午前11時～午後2時

カフェ

平日 午前11時～午後4時

あやなりWebサイトでは、越谷・湘南キャンパスの学食メニューや、各校卒業生の皆さまの「食の思い出」エピソードをご覧ください。

アクセスは
こちらから▶



すべては学びのために
新型コロナウイルス感染症への対応

文教大学附属幼稚園

先入観で判断するのは大人。
子どもたちは瞬間、瞬間の
喜びを生きている



やすだ のぼる
附属幼稚園園長 保田 昇先生

幼稚園には一年を通じて楽しい行事がたくさんあります。こうした行事を例年通りに行うことができないことが一番心を痛めた点です。子どもたちが淋しい思いをしないよう、先生たちは創意工夫を凝らし「もっと楽しくしよう」と、2020年バージョンの行事をつくり上げてくれました。例えばお泊まり保育は「サマースペシャル」と題して園に遊びの場を用意したり、運動会は「スポーツデー」と名を変え、密にならないよう学年ごとにオリンピックを開催するという趣向を凝らしました。また、芋掘りは子どもたちの代わりにお父さんたちが収穫に行き、その様子を動画に撮って子どもたちに見せるなど、保護者の方たちの協力を得て実現した行事もあります。

こうした中で実感したのは、子どもたちの力です。コロナ禍前と同じことができないことに「かわいそう」と漏らすのは大人だけ。子

新型コロナウイルス感染症は、教育の現場にも大きな影響を及ぼしました。各校では、刻々と変わる状況の中、学びを止めないために取り組み続けています。

どもたちはどんな形であっても「たのしいね!」「うれしいね!」と瞳を輝かせ、その瞬間、瞬間の喜びを生きています。「去年と違う」といった先入観で判断するのは、大人の狭い考え方であることに気付かされました。コロナ禍の中にあっても楽しい経験、学びの機会を用意し、どんなことでも乗り越えていく力を育てていきたいと改めて思っています。



サマースペシャルでは的に「思い」をぶつけたり、浴衣で盆踊りなど普段できない遊びを満喫

文教大学附属小学校

コロナ禍を生きる経験は
チャレンジする力を引き出し
あきらめない心を育む



しまの あゆみ
附属小学校校長 島野 歩先生

2020年の運動会は忘れられません。競技をする学年のみ校庭に出て、他の学年はライブ配信を観る。「これで運動会といえるの?」と自問自答する私たち教員。実際には子どもたちの活躍ぶりは素晴らしいものでした。最後白組の応援団長は本気で悔し泣き。形は変わっても、子どもたちにとっては「運動会」であることに変わりはありませんでした。開催して本当に良かった。コロナ禍だから「やらない」ではなく「今、何ができるか?」を判断の指針としてきました。感染者数など日々変わる情報には敏感に柔軟に対応しながら、先々の可能性と学校としての意思をしっかりと示し、保護者の方たちにもご理解いただく。このことがどれだけ大切かを実感している日々です。

約3カ月に及ぶ休校は、子どもたちにとって過酷だったと思います。再開後の登校初日、

みんな「学校に来ることができる」「友達に会える」、その喜びでテンションが振り切れんばかりでした。それから子どもたちは変わりました。どの子どももとても意欲的にどんなことでも挑戦できるようになりました。小さなことでも喜びを感じ、頑張る力を出し切ろうとしています。これからも人との関わり合いや体験の機会を諦めず、豊かな人間力を育てていきたいと考えています。



Tokyo Global Gatewayでの英語学習プログラムも実施することができました

文教大学附属中学校・高等学校

学びを止めない。

ICT環境によっていち早くオンライン授業をスタート

2020年4月の緊急事態宣言を受けてまず考えたのは、「生徒の学びを止めない」ことです。各教科の課題プリント、解説プリントを作成し、各家庭にレターパックで送付しました。同時にオンラインでの授業の検討を始め、パソコンスキルの高い教員が中心となって「オンライン授業マニュアル」を作成。4月中旬には体育や芸術科も含めたすべての科目でオンライン授業をスタートさせることができました。スムーズに実現できたのは、タブレットなど校内のICT環境が整っていたからです。必要に駆られて始まったオンライン対応ですが、その後は授業だけでなく、生徒会の立会演説会や投票、保護者も含めた三者面談、教職員会議などで幅広く活用し、結果としてはさまざまな可能性の幅が広がったと感じています。

一方で、学校へ来ることの意義について考えさせられました。ただ勉強するだけであれ

ばオンラインで事足りますが、学校現場にはそれだけではない「学び」に満ちています。コミュニケーション力や集団で力を合わせることは対面での関わりによって得られ、「自分はどうな人間か」の理解へとつながるのではないのでしょうか。現在は、対面やオンラインなど多様な方法を組み合わせ、より熱の入った授業が日々展開されています。



ホームルームもオンラインで実施し、クラスづくりに取り組みました



生徒会の立会演説会。候補者たちのプレゼンはライブ配信で行われました



附属中学校・高等学校校長
どうや しんご
銅谷 新吾先生

文教大学

学生の心身の健康を維持し、

無限の可能性が開花するよう全力で応援する

本校は越谷、湘南と2つのキャンパスが非常に離れていることから、以前より情報学部の先生が中心となってオンライン教育について検討・整備を進めてきました。こうした取り組みが今回大変役に立ち、オンライン授業をスムーズに開始することができました。さらにオンライン教育のノウハウが学内に浸透したことは大きなメリットだったと思います。現在は感染予防対策を講じながら対面の授業を行っています。登校を控える学生はオンラインで授業に参加できる、対面・オンライン同時並行型の授業を実施しています。こうした進歩によって時間や空間、キャンパスや学部の制約を越えた連携が進むのではないかと期待しています。

感染症の終息が見えない今、学生の安全と満足度の両立をどう保つかが大きな課題です。

2021年4月にはYouTubeによる「学長メッセージ」を初めて配信し、学生たちに呼びかけました。一つは感染予防への注意喚起。もう一つは学生のみなさんへの応援です。全教職員が「全力で応援している」「みなさんと共にいる」ことを強く伝えたいと思いました。大学はいつでも「学生ファースト」の姿勢です。心と体の健康を維持し、限りない可能性が文教大学で花開くことを全力で応援していきます。



対面の授業では、マスクの着用や飛沫防止パネルの設置、換気の徹底など対策をしています



「学長メッセージ」動画では、学生たちに「困ったときはいつでも相談を」と呼びかけました



なかじま しげる
大学学長 中島 滋先生

BUNKYO流 ニューノーマル

新型コロナウイルスへの感染から園児・児童・生徒・学生を守るため、体調の管理やキャンパスでの過ごし方の制限がはじまりました。安全・安心の確保は大前提に、より子どもたちの負担が少なく、より子どもたちの学びにつながる方法はないか、各校で工夫や改善を重ねてきました。保護者の皆さまのご理解・ご協力もいただきながら、文教らしい新しいキャンパスライフが紡がれています。

オンライン対応

ICT環境の整備や動画配信などを行いました。



YouTubeでの動画配信



PC利用マニュアルの整備



オンライン授業の撮影



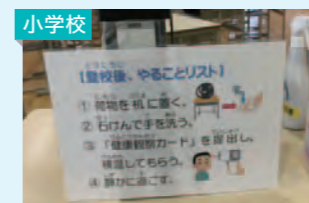
オンライン学修管理システム

新しい生活様式の実践

実施方法を工夫したり、普及・啓発に努めました。



オリジナルの飛沫防止ガード



登校後の過ごし方の案内



黙食の実践



学食利用時の注意点の啓発

感染予防

体調管理や消毒、密の回避などが習慣となりました。



登園時に検温を実施



距離をあげて並ぶための目印



分散登校の実施



消毒液、検温カメラの設置

行事の開催

実施方法の変更ややむなく中止することもありました。



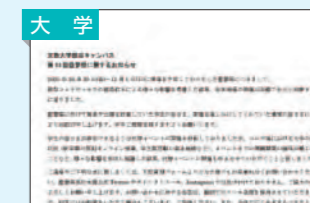
運動会は学年ごとに実施



6年生とその保護者だけの卒業式



中高で分けて実施した修了式



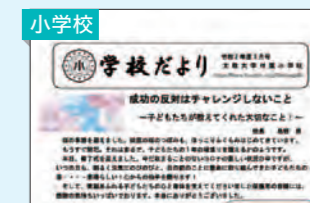
第53回藍蔭祭の中止

メッセージの発信

各校の思いや方針をさまざまな形で伝えました。



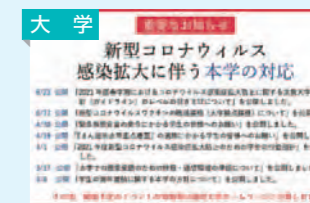
幼稚園だより



学校だより



受験生応援動画



公式ホームページ

卒業生の数だけ文教人がいる!

文教人 / 141,000

幼稚園から大学院まで擁する文教大学学園。

卒業生は14万人を超え、全国のさまざまなジャンルで活躍しています。

そんな「文教人」を追って、インタビューを行うこのコーナー。

文教大学学園時代の思い出から、現在の活躍まで、お話を伺いました。



念願の母校の教壇に立ち、 良き伝統を受け継ぎ育てていく

飯尾 太一さん

Taichi Iio

【現職】文教大学付属小学校教諭

【卒業年】文教大学付属小学校 2005年卒業



コロナ禍ではこの教室から一人でオンライン授業を配信。「日常の大切さを感じました」



「一日一日が楽しかった…。自身の小学校時代を振り返ってもらうとこんな言葉が出てきた。飯尾太一さんは文教大学付属小学校の卒業生。そして今、母校の5年2組の教壇に立っている。小学校の先生になりたいと思ったのは小学校時代、母校での日々にある。

「働いている先生たちを見ていて、楽しそうだなと感じたのが一番の理由ですね。中学から外部の私学に進んだのですが、そこで改めて文教の良さを実感しました。先生として文教へ戻ることができたら。これが一つの目標になりました」

文教の良さとは、ひと言で言えば家族的。先生と児童の距離が近く、児童一人ひとりに目が行き届き、些細な変化にも気付くこ

とができる。この受け継がれてきた良き伝統を「今度は自分が守り、作り出す側になった」と飯尾さんは語る。そして教員になって6年。教員としてのスキルを磨くと同時に、「飯尾太一」という自分の中身を充実させることが大切だと感じるようになった。子どもへの接し方、かける言葉、どんな指導が適切か。たくさん引き出しを持ち、さまざまな状況に柔軟に応じられるようにありたいと思う。

「日々学びですが、実は児童から教わるのがすごく多い。27人の子どもたちはみんな、私にはない何かを持っています。そこに気付かされるたびに、グッとくる。毎日グッとくることばかりです」



さまざまな経験を肥やしに、多くの人が 喜んでくれる表現を追求していく

池野 慎太郎さん

Shintarou Ikeno

【現職】カメラマン、長州カメラネージャー

【卒業年】文教大学付属高等学校 2006年卒業



池野さんも出演する
YouTube
「RIKI CHANNEL」

表現にはいろいろな形があるが、池野慎太郎さんが選んだのは写真という表現。好きなファッションをカメラで撮る仕事に就きたいと、カメラマンを志したのは高校生の時だ。スタジオカメラマンなどを経て独立。写真事務所を経営する一方、2018年に元プロレスラーの長州力氏の長女と結婚したことから、長州氏のマネージャー業にも携わる。

「SNS、動画配信など、^{りき}さんがやりたいというエンターテインメントを支援していく。それが私のもう一つの仕事です」

YouTubeで配信する『RIKI CHANNEL』は、20万人を超える^{*}登録者数を持つ人気チャンネルだ。池野さんも出演し、強い父とその義父に頭の上から娘婿兼マネージャーという関係性が一

つのドラマになっている。長州氏の破天荒な行動や発言がユニークで、それが視聴者を強く惹きつける。

「見てきた世界が違ふんでしょね、力さんの発想は独特で魅力的です。そして、細やかな気遣いで周りの人をすごく大切にされる方です」

そうした人間性の裏打ちがあって、人の心を動かすことができる。カメラマンの仕事をする上でも、長州氏から学ぶことは多い。自分が目指す表現とは？それは多くの人に喜んでもらえたり、幸せな気持ちになってもらえたりすること。人が求めるものに応えていきたい。そんな写真を撮ることができるよう、マネージャーという経験も肥やしにしていきたいと語る。 ^{*}2021年7月末現在



きど ふみかさん

Fumika Kido

【現職】

イラストレーター

【卒業年】

文教大学教育学部心理教育課程

2011年卒業

好きなことを仕事にしたい。
この想いの芽を育て、
現在はイラストレーターとして活躍

大学生活で世界観が一変する

幼稚園の先生を目指して栃木県の進学校から文教大学教育学部へ進んだ、きどふみかさん。親元を離れ、初めての一人暮らし。ここからきどさんは、自分の人生と向き合うことになる。

「初めてのアルバイト、家事、お金の管理、友人たちとの関わり、何もかもが新鮮で、そして生活することの大変さを実感しました。それまで眠っていた目を開かされたと言いますか、世界観が変わりました」

子どもが好きという理由で児童心理学科を選んだが、絵本を読んだり、作ったりする授業を通じて、絵を描くことが好きな自分を強く意識するようになる。生活するにはお金が必要、絵は趣味と考えていたが働くなら好きなことを仕事にしたい。そう決心すると、イラストレーターという仕事へ向かって想いをふくらませていった。そんな胸の内を友人の一人に話すと、母親が出版関連の仕事をしてい

ると言う。絵を見てもらったところ「プロになるならもっと勉強しなさい」との助言を受け、卒業後は桑沢デザイン研究所の夜間部に通い、専門的な知識と技術を身につけた。

文教での学びが仕事に活かされている

イラストレーターのアシスタントなどを経て2016年に独立。目の前の仕事と真摯に向き合いこなしていく中で、プロとして確実に成長したと感じる。現在は月刊誌に連載を持つほか、雑誌・書籍の挿絵から雑貨やレターセットのイラストなども手がけ、締め切りに追われる毎日だ。「イラストレーターは注文に応じて絵を描く商売です。さまざまな制約がある中で、どれだけかわいいものを表現できるか、生み出せるか。そしてかわいいだけでなく、ちょっと捻^{ひね}りを加えたい。ご覧になった方の心が、ふっとゆるむようなイラストを目指しています」

熊のキャラクターやあどけない表情の

女の子、やわらかなタッチのイラストは育児情報誌などで人気が高く、そうした媒体の仕事は、大学時代に学んだ幼児教育の知識が役に立ったと思う機会が少なくない。イラストレーターとしての強みや個性につながっていると感じている。直接子どもと関わる道には進まなかったが、イラストという仕事を通じて子どもと関わりたいという夢をかなえている。



今号の表紙はきどさんの作品

「大学に入って、自分の好きなことややりたいことを考えることができました。そういった自分の気持ちを花に見立て、たくさんの気持ちを大事に育てている様子を表現してみました」



文教人に会える店

「文教人」が活躍するお店も日本全国に広がっています。
魅力的な人となりを感じられる憩いの場にぜひお立ち寄りください。

詳しいお店情報はあやなりWebサイトをCheck! ➡



晴れ晴れ珈琲 越谷店

埼玉県越谷市越ヶ谷1-3-26 光ビル1F ☎048-945-1671
<https://harebarecoffee.com>



焼きたてのコーヒー豆を販売 お好みの味を探り提案

ドアを開けると、コーヒーの芳香に出迎えられる。店主の水谷英晴さんは、コーヒー好きが高じ会社を辞めて起業。コーヒーの移動販売を経て足利店を開店。2店目となる越谷店は、開店1年でコロナ禍に見舞われたが、ステイホームでこだわりのコーヒーを楽しみたいという人たちが足を運ぶ。「注文をいただいてから、高速焙煎した焼きたての豆をお渡ししています」。豆の鮮度ではどこにも負けないという自負がある。とはいえ、敷居は決して高くない。約50種類の生豆の中から、肩の力を抜いて好みのコーヒーを探ることができるのが魅力だ。「ブラックがすべてではありません。牛乳や砂糖を入れて好みの味にしてください」

ラグビー部に所属していた大学時代。「選手それぞれが任せられたポジションを全うすることが、チームを勝利に導くという“One for all,

All for one”の精神は、会社員時代にも役立ちました」。飲食業は3年で“老舗”の世界だ。世の中の変化は激しく、コーヒー業界も大きな波に何度も襲われてきた。「ラグビーの常識が当時とはまったく変わった部分があるように、基本を身につけたうえで、変化にどう対応していくか自分の頭で考える力は欠かせません」

移動販売車時代から苦楽を共にした妻の智華子さんも文教大学出身。「再び越谷と縁がながってうれしい。コロナ後は、遠くに散らばっている同窓生が集まれる場にしたいですね」と夢は広がる。

水谷 英晴さん
Hideharu Mizutani

株式会社晴れ晴れ 代表取締役
文教大学文学部中国語中国文学科
1993年卒業



marmelo

マルメロ

東京都世田谷区代沢2-36-30 廣井ビル1F
<https://www.marmelo-flower.com>

花や植物をもっと身近に 花のある暮らしを広めたい

穏やかな住宅街に囲まれ、古き良き商店が点在する商店街の一角に佇む marmelo。ウィンドウ越しにのぞく雰囲気のある花々に、ふらりと立ち寄る人も多い。幼い頃からの「花屋さんになる」という夢に向かって歩んでいた小野寺千絵さんが、独立を決意して1軒目で出会ったという店内には、小野寺さんのセンスがあふれている。一輪でも日々の暮らしのアクセントとなるような淡い色合いを中心とした生花、インテリアに彩りを添えるスワッグやドライフラワー、花器などが並ぶ。「花を飾ることを特別なことではなく、暮らしの一部として取り入れてもらえれば」と、手に取りやすい価格帯のものを多く扱い、アレンジメントのレッスンも行っている。

文教大学附属中学校・高等学校へは、卒業生だった母の影響もあり自然な流れで進学した。中学校の入学式で見た吹奏楽部に憧れて入部。6年間の一番



小野寺 千絵さん

Chie Onodera

marmelo 店主
文教大学附属高等学校
2003年卒業



の思い出というほど部活動に打ち込んだ。同級生たちからは卒業後も、結婚式のブーケや家族のお祝いごとの花束を相談されることも多いという。最近では、流木を使った店舗の装飾など空間づくりにも挑戦している。「これからは花や植物を通してできることを増やしていければ」と興味の芽がふくらんでいる。



Donky boulange

ドンキイ

東京都渋谷区富ヶ谷1-2-14

厳選した素材を丁寧に焼き上げ 心のこもったパンを届ける

代々木八幡駅を降りてすぐ、代々木公園へと向かう通りを歩き交う人々の鼻腔をくすぐるのは、焼き立てのパンの香ばしい香り。Donky boulangeはこの地に店を構えて約40年、地域の人々に愛され続けている。「50年以上前に夫が原宿で始めたパン屋が始



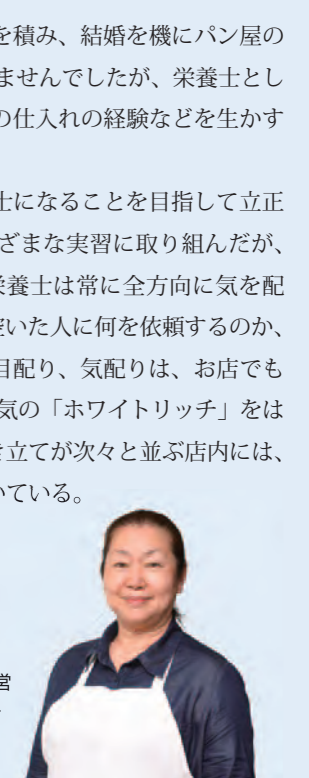
まり。かつてはケーキや喫茶なども手掛けていましたが、今は息子や娘たちと楽しくやっています」と大竹かおるさん。立正女子大学短期大学部卒業後は病院で栄養士として経験を積み、結婚を機にパン屋の道へ。「当時、商売のことは何も知りませんでしたが、栄養士としての添加物や素材の知識、病院時代の仕入れの経験などを生かすことができました」

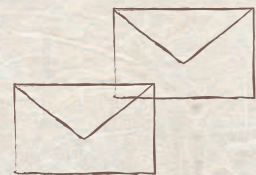
小さい頃から料理が好きで、栄養士になることを目指して立正女子大学短期大学部を選んだ。さまざまな実習に取り組んだが、どれも楽しく思い出深い経験だ。「栄養士は常に全方向に気を配る仕事です。次の工程は何か、手が空いた人に何を依頼するのか、盛り付けは問題ないか…。そうした目配り、気配りは、お店でも必須のスキルだと感じています」。人気の「ホワイトリッチ」をはじめ、惣菜系からスイーツ系まで焼き立てが次々と並ぶ店内には、大竹さんのおもてなしの心が行き届いている。

大竹 かおるさん

Kaoru Otake

ブランジェ・ドンキイ
(有限会社ブランジェ小島屋) 経営
立正女子大学短期大学部 栄養科
1973年卒業





恩師便り 先生！お久しぶりです！

かつて文教大学学園で教壇に立っていた懐かしい恩師の方々の近況をお伝えします。今回は、3名の先生方に近況と文教時代の思い出を語っていただきました。



「命」を追究する学問としての経営学、そして命を大切にしたい暮らし

坪井 順一先生
Junichi Tsuboi

昭和55年文教大学情報学部経営情報学科に着任。平成21年情報学部長。平成26年経営学部の創設に伴い、経営学部長に就任。令和2年3月定年退職、同年4月文教大学名誉教授。

退職してから何も用がなければ、1日3、4時間は畑に行き、1カ月のうち1週間は伊豆に行く生活です。畑は30坪の土地を借り、さまざまな野菜を作っています。6月中旬にはジャガイモ、タマネギを収穫しました。自分たちで食べる野菜は、基本的に畑で作ったものです。また、9頭の犬のために、伊豆赤沢にドッグランを作りました。いずれも保護犬ですが、私たちにとってはかわいい子どもです。犬たちの笑顔を撮るためにカメラも購入しました。

平成26年に情報学部経営情報学科から独立して経営学部が創設されました。学部の理念は「人間尊重の経営」です。人間尊重とは、命の尊さを考えながら平等で差別のない社会を作ることです。経営学は理論を学ぶだけでなく、人間の命の大切さを考えながら、人間の暮らしや営みを豊かにするためのものだと恩師から教えられました。命を考えることは、哲学、思想、あるいは政治にも関心が広がっていきます。そういう意味では、経営学は単なる技術ではなく幅広い学問です。教員を辞めた今

も、農薬や化学肥料を使わない安全で安心な野菜を作ったり、犬たちと共に生きることは、「命」を追究してきた経営学と相通ずるものがあります。ゼミの卒業生も農業に携わる者、地元の酒造メーカーで活躍する者、観光事業に携わり町おこしに励む者などさまざまな分野で活躍しています。自分の生き方や命を見据え、自分なりの人生を歩んでほしいと思います。

校友会の発足、経営学部の創設、東京あだちキャンパスの開設など、「教える」以外の仕事にも携わってきました。学生たちと3年間、茅ヶ崎駅北口商店街のゴミ拾いをしたこともあり、「あのときこうすれば…」と思うこともあります。悔いのない教員生活だったと納得しています。

犬たちのとびきりの笑顔を撮りたいと思っていますが、なかなか難しいですね(笑)。
[写真:坪井先生提供]



ニュージーランド出発前に溝の口小学校の保護者からいただいたアタッシュケースは今も現役です。



杉山 正宏先生
Masahiro Sugiyama

文教大学教育学部卒業後の昭和58年、文教大学付属小学校(溝の口小学校)に就任。昭和59年よりニュージーランド・オークランドの日本語補習授業校教諭。平成元年神奈川県公立小学校の教諭に。伊勢原市教育委員会を経て令和3年定年退職。現在は帝京大学大学院教職研究科准教授。

新たな人生のスタートも文教のつながりから

文教大学の就職課から「付属小学校で教員を探している」と連絡があったのは、神奈川県教員採用試験に落ちた失意の最中でした。ありがたいお話をお受けして、4月から溝の口小学校で新米教師生活がスタート。「こうあらねば……」という理想はありましたが、そんなものが通用するはずもなく、とにかく一所懸命にやったという手応えだけが残っています。

結果として翌年にはニュージーランドの日本語補習授業校の教員として旅立つことになるのですが、溝の口小学校で過ごした1年がその後の教員生活の基盤を作ってくれたと言っても

過言ではありません。受験算数を担当され、休み時間もずっと算数の問題集を自作されていた筈川信昭先生。笑い声の絶えない学級づくりを行い、いつも子どもたちに囲まれていた富永順次郎先生。学校実務の責任者として、保護者に誠意を尽くし対応されていた武藤幸男教頭。こうした先生方の教育姿勢に触れることができたのは一生の財産、そのお姿を追いかけようとして、自分なりの教員として在り方を探る日々だったと思います。

神奈川県教員を令和3年に定年退職しまして、現在は教員を目指す学生たちに教える立場にあります。この仕事を紹介してくれたのは文教大学時代の同級生。新たな人生のスタートも文教のつながりであることに改めて驚かされます。

幼稚園での8年間は、子どもたちと共に成長した時間

三浦比佐子先生
Hisako Miura

昭和53年文教大学付属幼稚園(越谷幼稚園)赴任。昭和61年3月の閉園に伴い退職。家庭のステレンス用品を扱うメーカーに就職。越谷幼稚園の教員、卒園生たちで作る「文教森の会」役員



卒園した子どもたちから贈られた手紙を読み返すと心が温まります。

越谷幼稚園における文教精神というものがあるとすれば、それは「自分で考え、見つけて、行動する」主体的精神ではないでしょうか。子どもには一人の人間としての人格がすでに備わっており、その資質と主体性を伸ばすにはどうしたらよいか。そのことを常に念頭にいた教育がされていました。一方私はといえば、フワフワした学生気分が抜けないうまま教員になり、「幼児教育とは?」「あなたはどうか考えるの?」と熱弁を交わすような雰囲気「ついていけないかしら?」というのが当時の率直な気持ちでした。幼稚園のアルバムを開く時、そこに写っているのは、子どもたちと共に成長した私自身の記録でもあると思っています。

教員として、人間として鍛えられた反面、本当に楽しかった。頭と心を伸び伸びと存分に使って、全力で子どもたちと遊びました。閉園が決まり、卒園した子どもたちからは「幼稚園がなくなったら、先生はどこの幼稚園の先生になるのですか?」という手紙をいくつももらいましたが、私は幼稚園の先生を続けることを選びませんでした。それは、「文教ほど生かしてくれる所はない」という気持ちからです。一般企業に勤め、そこもあと1年半ほどで退職を迎えます。そうして今、できれば再び子どもに携わる仕事をしたい。もう一度子どもと「人と人」として関わることのできる時間を持ちたいと考えています。

文教大学学園 校友会の輪

2012年に発足した
「文教大学学園校友会」は
各校校友団体の連合体です。
校友同士の輪(和)の
形成を目指しています。

文教大学 藍蔘会

会員数:44,640名
問合せ先:[藍蔘会事務局]
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
☎048-974-8811
☎048-979-6644
✉aitadekai@stf.bunkyo.ac.jp
🌐https://www.bunkyo.ac.jp/etc/aitade/

藍蔘会は大学の同窓会として1973年、当時の立正女子大学(旧称)の卒業生により発足されて以来、卒業生の拠り所として、また母校の発展を願う活動を続けています。昨年はコロナ禍により例年通りの活動は思うようにはできませんでしたが、年2回発行の会報「あいたで」を通じて多くの会員と交流することができました。今年度も本来の活動は難しい状況ですが、また必ず卒業生の皆さんと再会できることを願って、その日を楽しみに地盤固めをしています。



支部代表の皆さんと

文教大学女子短期大学部 芙蓉会

会員数:30,157名
問合せ先:[芙蓉会事務局](火曜日・水曜日開室)
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
☎0467-52-4075 ✉fuyou@www.bunkyo.ac.jp
🌐http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fuyou/

芙蓉会は旗の台キャンパスと湘南キャンパスの短期大学部卒業生を会員に持ち、閉学後も会報などを通じて会員の絆を大切にしています。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会は書面総会となり活動も休止状態となりました。本年、短期大学部からご指導いただきました中島滋先生(健康栄養学部教授)が、学長にご就任されお祝いに伺いました。厳しい状況が続いていますが、これからも会報やホームページを通して会員とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。



新学長中島滋先生と一緒に

文教大学附属高等学校 三蓉会

会員数:24,475名
問合せ先:[三蓉会事務局](木曜日開室)
〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
☎03-3784-0524
✉sanyokai@hatanodai.bunkyo.ac.jp

三蓉会では卒業生・教職員・在校生の3本の柱で学校を支え母校の発展に寄与することを目的としており在校生や学校行事に協力しています。創立90周年にはファイル、入学時には校歌CDやシューズケース、卒業時には入会記念として図書カードなどのオリジナルグッズを寄贈しております。

今年は2年に1度の同窓会開催の年ですが新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の為、延期することになりました。また皆さまにお会いできることを楽しみにしております。



三蓉会オリジナルグッズ

文教大学附属小学校 同窓会

会員数:2,389名
問合せ先:〒145-0065 東京都大田区東雪谷2-3-12
☎03-3720-0792 ☎03-3720-1117
✉bersc_2008@yahoo.co.jp
🌐www.ikd2008.com

矢野元校長先生の熱い思いから2008年に誕生した同窓会も、50名が卒業し、65期生を迎えました。今年のフェスティバルは残念ながら来年に再延期となりましたが、来年笑顔でお目にかかれることを心より祈っております。



文教大学附属(溝の口)小学校校友会

会員数:400名
問合せ先:☎090-4605-5320(担当:17回生 矢内)
✉kouyukai@yannet.biz
🌐http://www.yannet.biz/bunkyo-koyukai/
🌐https://www.facebook.com/bunkyo.mizonokuchi.koyukai/
「文教大学附属溝の口小学校校友会」で検索

例年出展参加しております高津区最大のお祭り「高津区民祭」が今年も中止となり、皆さまとの交流の場が失われております。本年は、定期総会開催の年です。ワクチン接種開始によりコロナの鎮静化も期待される事から、いつも秋頃実施でしたが、来年2月頃にずらして実施する予定とさせていただきます。新規会員が増えない当校友会としては、現会員の皆さまとお会いできる機会となる総会を大切にしたいと考えます。是非ご出席いただければ幸いです。



文教大学父母と教職員の会

会員数:8,234名(正会員/在学生 大学院72名、専攻科1名含む)、
344名(教職員会員)、100名(賛助会員)
問合せ先:[父母教越谷事務局]
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337 ☎048-974-8811 内線1051
[父母教湘南事務局]
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 ☎0467-53-2111 内線3640
[父母教東京あだち事務局] ※2021年9月に開室の予定
〒121-8577 東京都足立区花畑5-6-1 ☎03-5686-8577
✉fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp
🌐https://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/

本会は、今年度創立45周年を迎えました。保護者と教職員が緊密に連絡・協力して、文教大学の発展・向上に寄与することを目的とした会です。全国45支部での総会・研修会、年3回の会報発行、学生の諸活動や生活及び就職対策支援、100円朝食の共催、学園祭への参加等さまざまな活動をしています。学生が卒業した後も、保護者が賛助会員として、会を支えています。



創立40周年記念事業として作成した父母と教職員の会のロゴです。文教の頭文字「b」をモチーフに、学生と父母と教職員が寄り添い、「人間愛」の理念が伝わるやさしい色合いになっています。

文教大学経営情報専門学校 翔華会

会員数:2,842名
問合せ先:✉arao@stf.bunkyo.ac.jp(担当:荒尾)

1998年3月の経営情報専門学校閉校と同時に記念誌「翔」を発行し活動は休止しています。卒業生は仕事にプライベートに忙しい世代です。再び「翔」ける日まで充電中です。



文教森の会

旧文教大学付属幼稚園(越谷)同窓会

会員数:52名
問合せ先:〒332-0035 埼玉県川口市西青木2-4-41-510
☎048-252-1757(担当:林) ✉fmk.61012@aa.cyberhome.ne.jp

2020年度は、イベントで作成した「観察BOOK」8回分の問題等を一冊子にまとめて製本し、2021年5月に郵送配布。毎年2~3回開催してきたイベント同様、本年からこの冊子を利用してテーマ「元荒川いきもの観察&クリーンアップ」を行ってまいります。三世代の参加者(30余名)が6班に分かれ、美しい土手を1時間半ほどかけて歩き、生物たちをカメラで撮影しながら土手のゴミを收拾して自然保全にも努めます。軽食を済ませた後、プロジェクターを使って各班発表画像を楽しみます。リピート参加者が多いのも、魅力です。ぜひ、ご参加ください。



文教大学ビジネス同友会

会員数:250名
問合せ先:〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
☎04-7145-5036 ✉bunkyo.bd@gmail.com
🌐http://bunkyobiz.net/

さまざまな職場で日々奮闘する同窓生が、縦横の繋がり、親睦を深めています。新入社員から60歳超のベテランまで、短大を含む全学部の文教OB、付属校卒業生が会員です。相互の交流から新しいビジネスが生まれたり、転職や再就職の芽を掴んだりできる同友会です。

コロナ禍の今は、オンラインをフル活用しています。在学生に対しては8業種にわたる就活支援や、大学ゼミ生との協働で会員企業のCM製作など。会員内では、懇親会や意見交換会、総会も。リモートの利点が生きて、北海道など地方からの参加もありました。今年度まではオンラインで集うことになりそうです。是非お気軽に覗きにきてみてください。日時など詳細は当会HPをチェック願います。



コロナ禍直前の賀詞交歓会。中島新学長も交えて

文教大学学園退職職員会の会

会員数:58名
問合せ先:〒146-0085 東京都大田区久が原1-32-2
☎03-6410-9943(担当:鈴木)

文教大学学園(旧立正学園)の職員であったことの喜びと誇りと栄誉を持つとともに、会員相互の親睦を図ることを目的に発足しました。再び活動できる日まで情報収集を行ってまいります。



学園 NEWS

日々着々と進化していく文教大学学園の
1年間のニュースをお届けします！

幼稚園 『遠足』それぞれの活動

2020年度も11月に「歩き遠足」を実施しました。コロナ禍の影響により縮小となり、松組だけが洗足池まで歩くことになりましたが、広々とした公園の隅々まで足を延ばして、葉っぱやどんぐりを沢山拾うことができました。

ひよこ組は、付属中学校・高等学校の中庭へ落ち葉拾いに行きました。同じ敷地内とはいえ、まだ行ったことの無い場所にドキドキしながら、色とりどりの葉っぱを拾うことができました。

梅組は、「七五三詣」で旗岡八幡神社へ参拝に行って、みんなの健康をお祈りしてきました。境内では秋色に染まった葉っぱを見つけると、思い思いに拾うことができました。

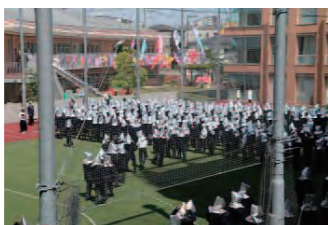
それぞれの活動の一つひとつの体験や発見が興味を広げ、季節感を感じることで、子どもたちの感性を豊かにしてくれています。



中学校 高等学校 防災訓練(避難訓練)

2021年4月28日(水)、6時間目に防災訓練が実施されました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年とは形を変えての実施となりました。

初めて防災訓練を行う新入生がグラウンドまでの避難を行い、その他の学年はそれぞれのフロアに分散して点呼を取るところまで行いました。ウイルスも脅威ですが、震災もいつ何時起こるか分からないため、動きの確認や経路の確認をするだけでも、防災の意識を高めることが出来たと思います。



小学校 お釈迦様の誕生を祝う 『花まつり』

2021年4月8日(木)、お釈迦様の誕生を祝う仏教行事「花まつり」(灌仏会)を行いました。昨年度は4月8日がコロナ禍による休校期間中だったので、2年ぶりの開式となりました。

講堂で島野校長先生より、花まつりの意味、お釈迦様の誕生についてのお話がありました。子どもたちはお釈迦様にお花を一輪ずつ捧げ、甘茶を注ぎ、灌仏をしました。

お釈迦様の「天上天下 唯我独尊」の教えのもと、自分というかけがえのない存在について、あらためて深く考える良い機会になったと思います。



大学 『東京あだちキャンパス』 開設記念式典

2021年3月20日(土・祝)、東京あだちキャンパス開設記念式典を開催いたしました。当日は、新キャンパスの開設までにお世話になった地域・行政の方々、学校関係者等、多くの方にご参列いただきました。

足立区の近藤やよい区長からは、祝辞として、「文教大学には、千住地域にある5つの大学とはまた違った新しい化学反応に期待している」と、お祝いの言葉をいただきました。

合わせて、新キャンパスの建設にあたり設置したバス転回場について、地域の課題でもあった交通利便性の向上につながるものとして、足立区の近藤区長と花畑団地周辺地区まちづくり協議会の有馬康二会長より、文教大学へ感謝状の贈呈がありました。最後は、新キャンパスのシンボルである時計塔の前でテープカットを行い、開設記念式典を閉じました。



大学

「お弁当・お惣菜大賞2022」の受賞を目指して商品開発を開始

健康栄養学部笠岡ゼミが、神奈川大学工学部高野倉ゼミと株式会社スズキヤと協同し、「お弁当・お惣菜大賞2022」の受賞を目指して商品開発を開始しました。2021年4月21日に、文教大学湘南キャンパスで笠岡ゼミ生(17チーム、合計36人)が商品企画案のプレゼンを行いました。スズキヤは神奈川県内に12店舗を展開するスーパーマーケットで、同大賞の2019年・2020年最優秀賞を獲得しており、神奈川大学高野倉ゼミは消費者の体験価値を創造する『UXデザイン』を考慮した容器などを提案します。三者が連携して開発した「アボカドと海鮮の腸活アヒボキ丼」が2021年7月14日(水)～18日(日)にスズキヤ逗子駅前店等で販売されました。



大学

小学校教員採用者数全国第5位! 中学校教員採用者数全国第2位!

2021年4月15日発売、『大学ランキング2022』(朝日新聞出版)によると、教員採用数(2020年大学通信調べ→2019年度実績)は以下の通りでした。

小学校		中学校	
国公立	全国第5位(246人)	国公立	全国第2位(145人)
14年連続	私立大学 全国第1位		私立大学 全国第2位
1	福岡教育大 304人	1	日本大 150人
2	愛知教育大 273人	2	文教大 145人
3	北海道教育大 258人	3	北海道教育大 139人
4	大阪教育大 257人	4	愛知教育大 120人
5	文教大 246人	5	大阪教育大 100人

学園

古本募金キャンペーンのご案内



「文教大学学園古本募金」は、皆さまの読み終わった本を文教大学学園の教育の充実のために役立てられる仕組みです。書籍の売却代金が、「文教サポーターズ募金」として活用されます。

2021年10月15日(金)～11月15日(月)にお申し込みいただきました古本募金は、寄附金額(書籍の売却代金)が10%アップとなるキャンペーンを実施いたします。ぜひこの機会に、古本募金にご協力ください。

詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.bunkyo.ac.jp/stf/fr/support/index.html>



幼稚園・小学校・中学校・高等学校 入試関連イベントのお知らせ

入学・入園をお考えの受験生やその保護者の皆さまをはじめ、多くの方々に本校の様子や教育方針、教育内容を知っていただくため、学校説明会など、各付属校でイベントを開催しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、少人数での開催や、オンラインでの開催などの感染防止対策を行いながら実施しております。詳細は、各校ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

数での開催や、オンラインでの開催などの感染防止対策を行いながら実施しております。詳細は、各校ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

中学校・高等学校

<https://www.bunkyo.ac.jp/jsh/>



小学校

<https://www.bunkyo.ac.jp/ps/entrance/index.html>



幼稚園

<https://www.bunkyo.ac.jp/faculty/youchien/admi/index.htm>



「あやなり」 Webサイト公開中!

「あやなり」の誌面には載せきれなかったエピソードやお知らせを掲載しています。ぜひご覧ください!

「あやなり」バックナンバー公開中

過去の特集や連載をお読みいただけます。

vol.7
2020.8.31発行



vol.6
2019.7.31発行



皆さまからの投稿や掲載希望も受け付けています



急上昇! マイブーム

新しい生活様式のなかで見つけたオススメの過ごし方・
楽しみ方を教えていただきました!

読者の皆さまの「文」でつくるページです。
日々の気づきや文教時代の思い出など、テーマ以外の投稿も
大歓迎です! 皆さまの「文」をお待ちしています。

コロナ禍でのおうち時間を活用し、〇〇才
の手習いを始めました。今までは自己流で刺
していた刺子にもいろいろルールがあるの
です。その通りに刺すと我ながら美しい! 通
販キットが届くの心待ちにしています。

立正女子大学卒業
加藤 美子さん

6月テレビを買い替えました。今はテレビ
番組などを観るものだけではなく、簡単に「ア
マゾンプライム」「YouTube」などのネット
配信番組を観られる様になり、おうち時間は
多くそちらを観ています。

立正女子大学教育学部付属溝ノ口小学校卒業
矢内 義道さん

マンションの大規模改修がありベランダを
片付けなければならなくなった。改修後きれ
いになったベランダに人工芝を敷き椅子を置
いてみたら、これがビールを飲むのにお誂え
向きである。暑い夏、夕立の後に一杯。

文教大学学園退職職員
戸田 あきらさん

私は、薬膳の会(会員はおよそ250名)を
運営しています。昨年はコロナ禍で活動がで
きなく、会員へのアプローチのひとつとして
YouTubeにチャレンジ! まずはスマホの購
入、若い人に教わりながら・・・

文教大学女子短期大学部卒業
和田 俊子さん

発酵食品が私のブームです。味噌、ヨーグ
ルト、キムチ、アンチョビなど作り、今は季
節の果物を使った発酵ジュースにはまってい
ます。ブラムで作ったジュースはルビーのよ
うな美しい色で、爽やかな味でした。

文教大学付属中学校・高等学校卒業・退職教員
菅沼 すみ子さん

60の手習いでハワイアンキルトを始めま
した。手作業なので時間がかかりますが、作
品が出来上がると、とても満足です。大作、
インテリアカバーはもう少しで完成します。
完成を目指し毎日コツコツとやっています。

文教大学付属中学校・高等学校退職教員
山口さん

近況いろいろ

孔子は人生の軌跡を「志学(十五歳)～従心
(七十歳)」と語っている。長寿時代の生き方
を追加すると、分をわきまえ足るを知る八十
歳。自由な心で悠々自適の九十歳。百歳は再
生の始めて日々楽しむ。人の天寿は何歳?

文教大学文学部名誉教授
謡口 明さん

4年に一度と言えば世界的にはサッカーの
W杯を思い出す人が多い。私もその一人。秋
からアジア最終予選が始まる。本番よりこの
戦いの方がスリリングで面白い。またこの刺
激を味わえるのを楽しみにしている。

立正女子大学教育学部付属石川台小学校卒業
片柳 匡司さん

なぜか、このトシで着ぐるみに入る羽目に
なりました。

暑くて息苦しくて汗だくになりますが、子
供たちの歓声が聞こえて、小さなノゾキアナ
の向こうに飛び上がってはしゃぐ子供たちが
見るとすこし元気になります。

文教大学卒業生

今回のテーマは「わが町自慢!」です。投稿は同封の「アンケート用紙」または「あやなりWebサイト」からお寄せください。
テーマ以外の投稿も大歓迎です!

「あやなり」アンケート協力をお願い

「あやなり」は、皆さまからの意見をもとに制作しています。
同封の「アンケート用紙」や「あやなりWebサイト」からご意見をお寄せください!!



編集後記

文教大学学園に関わる“人”や“物”を紹介してきました「あやなり」も第8号を発行する運びとなりました。第8号では、3年ぶりに「文教人に会える店」を紹介いたしました。どのお店も明るくて居心地の良いお店です。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください!

また第8号から、読者の声「文は人なり」を掲載しております。卒業生の皆さまの声を紹介したいので、同封のアンケート用紙やあやなりWebサイトから、「文」をお寄せいただけますと幸いです。

(理事長室 校友会担当)

※ 送付先住所は、各校友団体の協力を得て最新のデータで送付しておりますが、旧住所や宛名間違い等がございましたらご寛恕ください。その場合はご連絡いただけますと幸いです。

※ 「文教人」の卒業生数は、本学園創立から2021年3月までの、各校の卒業生数を集計したものです。複数校を卒業している方の「名寄せ」は行っておりませんのでご了承ください。また、付属中学校・高等学校については、高等学校卒業時点でカウントしています。

あやなり

文教大学学園校友会報
2021.8.16 第8号

発行: 文教大学学園
編集: 学園本部 理事長室
制作: 文化工房

〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
TEL: 03(3783)5511(代)
FAX: 03(3783)6109
E-mail: alumni@stf.bunkyo.ac.jp